

将来の世代のために

“今” すべきこと

市は、平成23年3月に定めた第2次行財政改革大綱（23年度～28年度）に基づき、人口減少により縮小する社会の中で、身の丈に合った歳出規模とすることで財政の健全化を図り、さまざまな事態に対応できる柔軟性を確保することを目指しています。今回は、27年度における行財政改革の取り組み結果をお知らせします。

■問い合わせ先 本庁行財政改革推進室（内線434）

行財政改革に取り組む背景

現在、社会問題となっている人口減少は、本市においても市税や地方交付税などの歳入の減少を招き、歳出規模の縮小につながります。また、33年度には市町村合併による普通交付税の特例措置もなくなります。

その一方で、高齢化などにより社会保障の経費が増え続ける中、今後、高度成長期に建設された多くの公共施設が一斉に更新時期を迎え、市の財政は一層厳しさを増す見込みです。

これらの状況から、現在の事務事業や公の施設の運営のすべてを継続していくことが難しい時代に突入しています。事業の選択と集中が必要不可欠なものになり、私たちの世代がしっかり決断できなければ、その負担は将来の世代に降りかかります。

第2次行財政改革の取り組み

そこで市は「健全な財政運営」「効率的で効果的な行政運営」「市民とともに歩む行政運営」を柱に、第2次行財政改革に取り組んでいます。

27年度の取り組みと成果
大綱で定める実施計画の27年度の効果額は、22億965万円の計画に対し実績は20億5054万円。1億5911万円の不足で達成度は92・8割でしたが、計画に掲げている旧土地開発公社の宅地などの年間売却目標額1億円と売却実績を加えると、23億965億円に対し22億9712万円の実績、達成度は99・5割となり、ほぼ目標を達成できました。

計画を下回った主な項目では、「市単独事業による扶助費（医療費補助等）の見直し」と「下水道事業会計等への繰り出し」が実施できず、効果額が1億7850万円減少しました。

一方、「職員数の削減」の項目では、退職者の一部不補充などで前年度の職員数から25人減の1147人となり、計画を6287万円上回る歳出削減効果がありました。

また、行財政改革における4つの成果目標では、地方債の新規発行抑制などで、財政調整基金現在高、地方債残高、

実質公債費比率は目標を達成できましたが、新市建設計画の実施時期がずれたことによる普通建設事業の増加など、普通会計の歳出規模の縮減は目標を達成することができませんでした。



売却が進む旧土地開発公社の宅地（マイアネタウン）

■成果目標と実績の比較（27年度）

項目	目標	実績
普通会計の歳出規模	498億円以下	604億9,700万円
財政調整基金残高	70億円以上	90億8,600万円
地方債残高（※ ¹ ）	590億円以下	566億2,900万円
実質公債費比率（※ ² ）	18.1%以下	16.7%

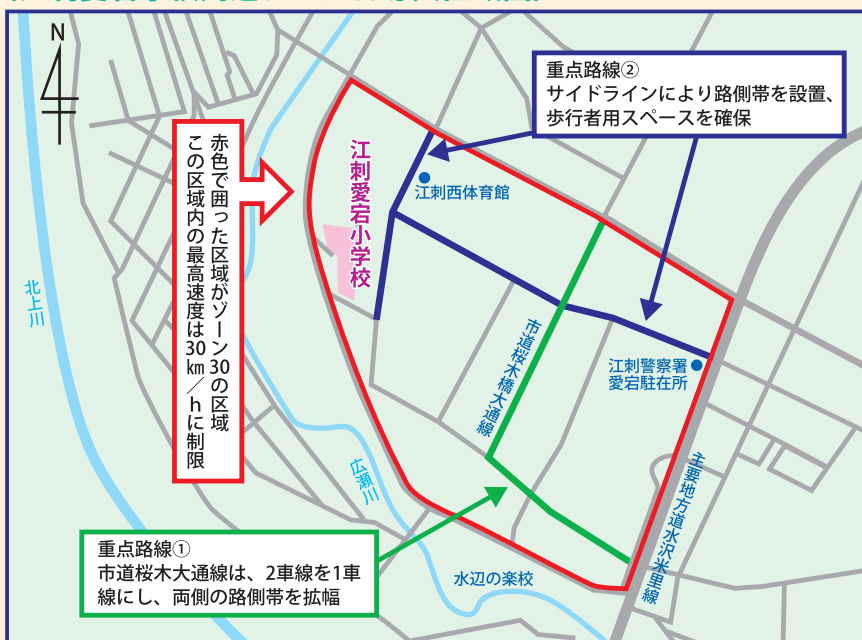
※¹ 償還費用が普通交付税の算定に含まれる臨時財政対策債分を除く

※² 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、27年度に公表した数値（24～26年度の平均値）による

江刺愛宕小学校周辺へ「ゾーン30」を導入します

県公安委員会と市は、江刺愛宕小学校周辺（通学路）における児童の交通安全を一層確実にするため、9月中旬から、同小学校周辺へ「ゾーン30」を導入します。この区域内の最高速度は、30km/hとなりますので、ご注意ください。

〈江刺愛宕学校周辺ゾーン30導入区域図〉



◇ゾーン30の内容

ゾーン入口に規制標識や路面標示などを設置して、範囲を明確にします。市道桜木大通線（旧県道）は、2車線を1車線にします。センターラインを撤去して車道幅員を5mにした上で両側の路側帯を拡幅します（重点路線①）。また、通学路線の路側帯を拡幅して歩行スペースを確保します（重点路線②）。



◇ゾーン30とは？

生活道路における交通安全対策の一つ。ある一定の範囲内（ゾーン）の生活道路について、歩行者などの安全を確保するための事業です。ゾーン内は歩行者などの通行を最優先に考え、原則として自動車などの最高速度を30km/hに規制。走行速度や通過交通を可能な限り抑制することを目指しています。ゾーン内の最高速度を30km/hに規制することから「ゾーン30」と呼ばれています。

ゾーン30の規制は、県公安委員会（警察）が実施。道路管理者である市は、サイドラインなどでの路側帯拡幅、「ゾーン30」の路面標示などを行います。

■問い合わせ

- ◎ゾーン30の導入に関すること
水沢警察署交通課（☎0110）※江刺区以外
江刺警察署交通課（☎0110）※江刺区のみ
- ◎通学路に関すること
市教育委員会事務局学校教育課（江刺総合支所・内線429）
- ◎歩行スペースなどの設置に関すること
本庁維持管理課道路河川担当（内線513～516）

〈市内のゾーン30導入区域〉

今回ゾーン30を導入する江刺愛宕小学校周辺のほか、水沢区の常盤小学校周辺でもゾーン30を導入しています。（右図のうち赤色で囲った区域。ただし、国道4号水沢東バイパスを除く）
児童など歩行者の安全のため、皆様のご協力をお願いします。

